

# 飯 尾 潤 教授

---

役 職：政策プロフェッショナルプログラム・ディレクター、公共政策プログラム（修士課程）・副ディレクター

専門分野：政治学

学 位：博士（法学）（東京大学）

略 歴：1986年東京大学法学部卒、92年同大学院法学政治学研究科博士課程修了、同年埼玉大学大学院政策科学研究科専任講師、93年同助教授、97年本学助教授、2000年本学教授（現在に至る）。01-02年ハーバード大学客員研究員として滞米。09-11年本学副学長。

## 1. 業 績 (A)

### (1) 図 書 (単著)

- \* 飯尾潤『現代日本の政策体系：政策の模倣から創造へ』全302頁（筑摩書房、2013年3月）

### (2) 学会発表

- \* 飯尾潤、日本行政学会「東日本大震災における復興政策に見られる行政的課題」（招待講演）、慶應義塾大学三田キャンパス、2012年5月19日
- \* 飯尾潤、（上村敏之、上山信一、松井孝治と）、日本公共政策学会「財政問題：民主主義と財政コントロール」（招待パネリスト）、立命館大学朱雀キャンパス、2012年6月17日
- \* 飯尾潤、地域政策学会「東日本大震災における国の復興政策の現状と課題」（招待講演）、常盤大学、2012年7月14日

## 2. 業 績 (B)

### (1) 書評・解説等

- \* 飯尾潤「(コラム) 政治主導」谷口将紀・川出良枝（編著）『政治学』東京大学出版会、2012年7月、128-129頁

### (2) その他

- \* 飯尾潤「日本における政策分析：歴史的概観」『日本における政策分析：その現状と課題』（科研費「わが国における政策分析と政策過程についての比較政策分析学的研究」研究代表者足立幸男、研究政策中間報告論集）2013年3月、14-21頁
- \* 飯尾潤「日本政府における政策分析『日本における政策分析：その現状と課題』（科研費「わが国における政策分析と政策過程についての比較政策分析学的研究」研究代表者足立幸男、研究政策中間報告論集）2013年3月、81-88頁

## 3. 助成金による研究

- \* 科学研究費補助金（基盤研究(A)）「21世紀型統治システムへの転換：主要国の政治意思決定構造の比較研究」研究分担者
- \* 科学研究費補助金（基盤研究(B)）「わが国における政策分析と政策過程についての比較政策分析学的研究」研究分担者
- \* 科学研究費補助金（基盤研究(B)）「民営化の戦後政治史の総合的研究」研究分担

者

- \* 科学研究費補助金（基盤研究(S)）「政策情報公開の包括化・国際化・ユニバーサル化」研究協力者

#### 4. 教育

##### (1) 講義

- \* 「政策過程論」(2単位、春学期) 政策過程に関する基本的な理論と枠組みについて概観することを主眼として、討論日の設置など方法的な工夫も加え、日本の具体的な事例から政策過程を観察することによって得られる知見の例を紹介し、政策過程の基本的な構造を解説した。
- \* 「社会科学方法論(質的分析)」(2単位、秋学期) 博士課程レベルの研究に必要な質的分析に関わる方法論的な基礎知識を、自然科学の方法論の応用として考える立場と、それを批判する立場の双方を紹介することで解説し、あわせて研究手法にわたる問題を広く扱った。

##### (2) 演習

- \* 「政策過程論特別演習」(2単位、春学期) 博士課程に在籍する学生を主たる対象として、政策過程論に関する英文の主要論文を一通り読破し、この分野の概観を得ることを目的とするフィールドセミナーで、本年度は、最近の研究を含めて読破する論文数を増やして、幅広く分野をカバーすることを目指した。
- \* 「事例研究方法論」(2単位、夏学期)(2単位、冬学期) 政策プロフェッショナル・プログラムの学生を主たる対象として、事例研究を用いた博士論文の作成方法について、博士論文をもとにした著作など具体例を示しつつ説明した。なお、本年度は受講者の入学時期の関係で同様の演習を2回開講した。
- \* 「政策事例研究特別演習」(単位外、政策プロフェッショナル・プログラム必修、通年) 政策プロフェッショナル・プログラムの学生に対して、論文執筆の状況を確認し、定期的な発表の機会を与えるため毎月1回週末に開催して、必要な指導をおこなっている。

##### (3) 論文指導

- \* 政策プロフェッショナル・プログラム(博士課程)に所属する16名の学生を指導し、うち2名が博士(博士課程)の学位を取得した。

##### (4) 研修事業

- \* 東北連携復興フォーラム(岩手県と本学との共催)において講演「東北地域の復興への期待」(2013年2月6日)を行った。

#### 5. 管理・運営への関与

##### (1) 委員会

- \* 研究教育評議会
- \* 博士課程委員会
- \* 政策プロフェッショナル・プログラム(博士課程)コミティー
- \* 公共政策プログラム(修士課程)コミティー

##### (2) その他

- \* 政策プロフェッショナル・プログラム・ディレクター
- \* 公共政策プログラム(修士課程)・副ディレクター

## 6. 社会的貢献（A）

### （1）他大学・研究所等における活動

非常勤講師

- \* 東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム（EMP）第7期「統治構造の転換と日本政治の可能性」、2012年4月28日
- \* 人事院第209回行政研修（課長級）「時代の変化と政治・行政の役割転換」、2012年7月9日
- \* 東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム（EMP）第8期「統治構造の転換と日本政治の可能性」、2012年11月16日

### （2）審議会等における活動

- \* 復興庁・復興推進委員(2013年3月まで)
- \* 国土交通省・社会資本整備審議会委員

## 7. 社会的貢献（B）

### （1）ジャーナリズムでの発言

#### ① 活字メディア

- \* （評論）「不透明さ続く政局見通し：成果と失敗総括必要」共同通信社配信「現論」『岩手日報』2012年4月23日朝刊6面など全国各紙に掲載
- \* （インタビュー）「首長塾 既成政党不信で注目」『朝日新聞』2012年4月16日夕刊11面
- \* （発言引用）「民主事前審査機能せず」『朝日新聞』2012年5月3日朝刊4面
- \* （発言引用）「首相公選制、ハードルは」『日本経済新聞』2012年5月4日14面
- \* （講演紹介）「やけっぱち解散ある」『茨城新聞』2012年5月31日朝刊21面
- \* （発言引用）“In Japan, sales tax increase advances in parliament despite ruling party rift,” *The Washington Post*, Jun.26,2012
- \* （評論）「『政策決定』できる国会のルール作りを急げ」『潮』2012年9月号58-63頁
- \* （対談）「“まともな人”が政治家になれない理由」（片山善博と）『中央公論』2012年9月号18-27頁
- \* （評論）「衆院解散を考える：首相基盤再編狙うか」共同通信社配信「現論」『愛媛新聞』2012年9月6日4面など全国各紙に掲載
- \* （発言引用）“Japan’s LDP choose Abe as leader,” *The Washington Post*, Sept.27,2012
- \* （小論）「『産業集積』でブレイクスルーするためには」『東京商工連盟ニュース』第5号（2012年9月19日）1頁
- \* （講演記録）「政策環境の変化と政治・行政の役割」『ファイナンス』2012年10月号41-48頁
- \* （発言引用）「漂流二大政党・「反小沢」に明け暮れて」『西日本新聞』2012年10月5日朝刊1面
- \* （講演紹介）「与野党の探り合い続く」『岐阜新聞』2012年10月12日朝刊2面
- \* （小論）「民主 色あせた政治主導」『神戸新聞』2012年10月17日朝刊25面
- \* （講演紹介）「衆院任期満了選も」『福井新聞』2012年10月26日朝刊2面
- \* （座談会）「民主党政権どう総括」『神戸新聞』2012年11月17日朝刊4面

- \* (発言引用)“DPJ’s promise to change the system failed,” *The Japan Times*, Dec.1,2012.
- \* (発言引用)“Abe’s rightism: Campaign ploy or governance plan?,” *The Japan Times*, Dec.2, 2012.
- \* (インタビュー)「政権公約：国民と共につくる必要」（12・16 衆院選：国政へのまなざし）『信濃毎日新聞』2012年12月14日朝刊5面
- \* (発言引用)「松下政経塾ひっそり」『朝日新聞』2012年12月14日朝刊39面
- \* (インタビュー)「安倍政権は決められるか：時間かけ慎重に成果を」『日本経済新聞』2012年12月23日朝刊9面
- \* (インタビュー)「第2次安倍政権が発足」『公明新聞』2012年12月29日4面
- \* (インタビュー)「市民と交流 政党磨け」『新潟日報』2013年1月1日朝刊21面
- \* (小論)「進む風化進まぬ復興：最先端の産業確立が必要」『河北新報』2013年1月3日朝刊15面
- \* (評論)「参院選ばかりに集中するな：長短さまざまな戦略を」共同通信社配信「現論」『山陽新聞』2013年1月15日朝刊3面ほか全国各紙に掲載
- \* (講演紹介)「参院良識の府に」『宮崎日日新聞』2013年1月22日朝刊23面
- \* (講演紹介)「政権夏までに混乱も」『宮崎日日新聞』2013年1月23日朝刊21面
- \* (対談)「政党再生のために安倍内閣がすべきこと」（北岡伸一と）『中央公論』2013年3月号22-29頁
- \* (講演紹介)「安倍政権と日本政治の将来」『秋田さきがけ』2013年2月16日朝刊6面
- \* (講演紹介)「経済政策副作用カギ」『京都新聞』2013年2月27日朝刊3面
- \* (インタビュー)「被災地復興を通じて日本を元気に：情報共有を充実させ事業加速」『日刊建設工業新聞』2013年3月8日24面
- ② 電波メディア
  - \* (TV番組出演)「日本の選挙制度を考える」朝日ニュースター「ニュースの深層」2012年5月3日20:00-20:50放映
  - \* (TV番組出演)「新総裁決定前夜：野党自民党3年の総括と既成政党の行方」BSフジPRIME NEWS、2012年9月25日20:00-21:55放映
- (2) 講演会，座談会，会議出席
  - \* この間、30数回の講演、座談会出席などを行った。